

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスひまわり 袋井駅前校校

令和4年 10月 28日実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・職員スペース、療育室を分けることが出来ている。 ・活動内容に合わせてスペースをわけているが、十分な広さを確保出来ているわけではなく、移動などに配慮は必要。 ・利用児の成長によってバギーも大きくなるため、収納スペースについても検討中。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・児童福祉法に基づき必要な職員数は配置している。 令和4年12月からは月の半数以上は看護師2名体制が取れる見込み。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・スペースを広く使えるよう、定期的に配置の見直しを行っている。 ・段差をなくして支援している。 ・利用児の変化に合わせ、今後変更する必要がある部分もある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか		○		・職員同士で話し合いや振り返りを行っている。 ・今後はより振り返りを積極的に行っていく予定。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者から話をしやすい関係づくりに努めている。 ・連絡ノートや口頭での聞き取り等を行い、意向の把握に努め、得た情報は職員間で共有している。保護者への返答も、確定していなくても状況の説明を行っている。 ・保護者アンケートを年に1回実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HPIに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後外部評価をしてもらい、業務改善につなげたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・現在はコロナの影響もあり、外部の研修には参加できていないが、状況が落ちつけば積極的に参加していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・コロナ禍で面談を行うことができていないが、送迎時等に会話の機会を設けている。 ・その結果をもとに職員で話し合いをし、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・アセスメントツールがあれば、今後活用していきたい。 ・重心のツールが少ない中でも、自分たちの持っている情報を活用して「その子」のアセスメントを行っていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・季節感や利用児のできること、できないことを考え、課題も含めてプログラムの作成を行っている。 ・チームでのプログラム作成は行えていない状況ではあるが、意見交換は行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・利用児の好きな活動は固定化し、定着させているが、マンネリ化を防ぐために様々な活動も行っている。 ・毎日利用する利用児がいるため、活動内容を変化、発展させている。 ・発達性癖の伸び具合に合わせて、スポットを当てるように工夫している。 ・季節に合わせた活動も行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇では、どの利用児も同じ活動を行えるようにしている。 ・家庭ではできないことを活動に取り入れたり、保護者も一緒に参加でき、楽しんでもらえる内容を心掛けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用児の特性を考慮し、計画している。 ・その日の利用人数や状況に応じて職員で話し合いをし、活動内容を決定している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼は行えていないが、簡単な口頭指示・確認をおこなっている。 ・途中勤務のスタッフに対しての指示・打ち合わせについては検討が必要。 ・申し送りノートも活用しているが、うまく機能していない。 ・今後はより職員間の連携を深め、全職員で共通理解ができるよう努めていきたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務形態の都合上、支援終了後に打ち合わせ等を行うことが出来ないため、支援記録を記載することで、職員間の情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録を記入し、職員で情報共有をしている。 ・学校や保護者から得た様子も記録することで、情報の紐づけを行っている。 ・記録をし、毎日目を通す事で改善できている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。 ・現在は保護者から計画や支援の内容について変更・要望は出ていないが、校舎からも提案していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・重心対応の頁が少なく、あまり行えていない。 ・今後も様々なものから情報収集をし、活動を検討していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防のため、担当者会議が行われていないが、必要に応じて電話での情報提供・相談を行っている。 ・実施の際は児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、学校、他事業所等と連携をとり、情報共有に努めている。 ・ホームページ活用や送迎時に聞き取りを行い、情報交換をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・看護指示書等を活用している。 ・病院・主治医との直接のやり取りは行っていないが、保護者経由で行えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報共有できるように努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・今までの卒業者に関して情報提供の依頼はなかった。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の機会があれば積極的に参加を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、外部との交流は積極的に計画していない。 ・交流や活動は行えていないが、散歩や地域の行事に参加することで、地域住民との交流は行っている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は感染症予防のため開催されていないが、開催時は常勤職員が必ず参加している。 ・研修には責任者だけでなく、職員が参加する機会も設けている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングや連絡帳を活用し、共通理解を持てるよう努めている。 ・送迎時に保護者と話し合いが出来る環境作りをし、必要に応じて別途時間を設ける等、話し合いの場を多く作るよう努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への助言・提案等は行っている。 ・ペアレントトレーニング等の支援に関する研修に参加していき、研修参加後に実践していきたい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に重要事項説明書の説明を必ず行っている。 ・該当しないケースの説明も、双方の食い違いを防ぐうえでも行っていく。 ・変更時は速やかに保護者に伝えている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の活用や、送迎時に口頭で聞き取りを行っている。 ・保護者が相談しやすい環境作りをし、信頼関係を築くことで適切な対応を行えるよう努めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・現在父母の会はないが、保護者会はある。 ・今年度はコロナ禍で保護者会は未実施だが、今後実施予定。 ・同じ悩みを抱える保護者同士を引き合わせ、相談できる関係性の構築の手伝いを行っている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の報告・連絡・相談を確実にしている。 ・保護者への連絡・報告は速やかに行い、安心して利用できるよう心掛けている。 ・日々の出来事、様子等をなるべく細かく伝えるようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の様子を定期発行のお便りの配布で活動内容の可視化を図っている。 ・連絡帳、口頭連絡、LINEを活用し、情報発信を行っている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱い契約書に署名いただき、同意を得ている。 ・個人情報取り扱いに関する規程を定めている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノート・メール・LINEを活用している。 ・送迎時に情報共有している。 ・マカトンサインや利用児に合わせたサイン、視覚的なアプローチ等の支援を行っている。 ・意思伝達が難しい利用児に対しては、表情・声色・動作等、子どもからのサインを観察し、読み取る事ができるよう努めている。
非常事等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は招待する行事を開催できてない。 ・地域住民と関わることが出来るような季節のイベントの計画も、状況を見ながら検討していく。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には緊急時の校舎対応を伝えているが、全員に周知徹底出来ているかに関しては課題があるように感じる。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中に組み込むことで、以前より実施回数は増えているが実施が不定期なため、いざという時にしっかり対応できるように、定期的に実施を行っていきたい。 ・様々な状況を想定し、今後も避難訓練を行っていく予定。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修や勉強会を行い、虐待防止に対する意識を強く持てるよう努めている。 ・今後は自立支援協議会等、社外の研修にも参加していく予定。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を行う際の条件を決め、事前に保護者に説明をし、了承を得るようにしている。 ・やむを得ず行う場合も、個別支援計画に記載をすることで了承を得ている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーがあるか等を保護者から聞き取りを行い、アセスメントシートに記入している。 ・アレルギーのある利用児に対しては、保護者から詳細に聞き取りを行い、提供することがないよう職員間で確認、徹底している。 ・アレルギーではないが食事制限のある利用児に対しても、保護者から聞き取りや確認を行い、対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの記入を行い記録を残している。 ・記入されたヒヤリハットに対し各自が考える対策や意見などを追加で記入するようにし、意識付けを行うようにしている。 ・必要に応じて検討会を行うようにしている。